



期間 令和4年 1月15日(土)～2月19日(土) [全5回]

実施場所 旧大阪商船(門司区)、旧下関英国領事館(下関市)ほか  
(現地集合・解散 詳細は事前送付予定の受講票に記載)

申込・  
問合せ先 生涯学習総合センター  
〒803-0811 小倉北区大門1-6-43  
TEL: 571-2735 FAX: 571-0943

時間 10:00～12:00

申込締切

12月24日(金)

スマートフォンからも  
お申込みできます▶



定員 20名

受講料 1,000円

受講生への  
メッセージ

コーディネーター：関門海峡日本遺産協議会

関門海峡と門司港レトロや若松南海岸、下関の海峡沿いに立ち並んでいるレトロな建物たち。この風景は、海の道と陸の道の交差点という関門海峡の特別な役割と、幕末以来のこの国の歴史が作り上げました。そのストーリーが日本遺産※「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶」に認定されています。

この講座では日本遺産について学ぶとともに、「関門“ノスタルジック”海峡」を構成する文化財のいくつかに焦点を当て、その見どころと取り巻く人々の物語を、各分野のエキスパートが現地を見ながらお話しします。

※日本遺産：地域の文化財と歴史、伝承、風習をひとつのストーリーにまとめたものを文化庁が認定したもの。

関門海峡日本遺産協議会

有識者、住民代表、大学生、民間企業等で構成され、関門海峡をテーマとしたストーリー「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」の魅力を発信しています。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	1/15 (土)	<p><b>レトロを“レトロ”だけにしておくのはもったいない！ ～文化財をストーリーでつなぐ「日本遺産」～</b> 会場：旧大阪商船(門司区)</p> <p>関門エリアのレトロ建物や文化を“ストーリー”で結ぶことで、新たな魅力が見えてきます。初回は「日本遺産」と「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」についてお話しします。</p>	<p>関門海峡日本遺産協議会 立野 康志郎</p>
2	1/22 (土)	<p><b>“日本の夜明け”はここから始まった ～維新の志士だけじゃない、幕末・明治の下関～</b> ※対談と唐戸周辺の街歩き 会場：旧下関英国領事館(下関市)</p> <p>明治・大正・昭和にかけて最もにぎわった下関市の中心地である唐戸地区。旧下関英国領事館の館長と対談し、まちあるきをしながら、当時の下関をご紹介します。</p>	<p>旧下関英国領事館 館長 藤澤 博隆</p> <p>関門海峡日本遺産協議会 藤本 有紀</p>

スポット受講  
詳細は2ページ  
料金  
500円/回  
初回必須